

# 事業報告

## 1. 講演会、公開講座等の実施に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)

### (1) 講演会の実施

#### ①常例午餐会

毎回当社社員を対象とし、原則として8月を除く毎週金曜日、当社大食堂において、各界の名士を講演者として招き、講演会を会食後に約1時間開催。また同時にネットライブ配信を実施。

( ) 内参加者数

1月24日(金)「ウェルビーイング向上を目指して (183名)

～若手が主体的に修学するためのヒント」

慶應義塾大学総合政策学部特任教授

東京大学公共政策大学院教授

社員 鈴木 寛 君

1月31日(金)「金融政策の行方～異次元緩和と財政規律： (219名)

外れた<sup>タガ</sup>箍は締め直せるか」

オフィス金融経済イニシアティブ代表 山本 謙三 氏

2月7日(金)「福澤諭吉の女性論と男性論 (192名)

—現代社会の視点から—

慶應義塾福澤研究センター長・教授 西澤 直子 さん

2月14日(金)「新型コロナ これまで、これから」 (206名)

(公財)結核予防会理事長

医学博士 尾身 茂 氏

2月21日(金)「日本の歩むべき道」 (253名)

お茶の水女子大学名誉教授

理学博士 藤原 正彦 氏

- 2月28日（金）「トランプ時代の欧米関係と国際安全保障」（241名）  
慶應義塾大学総合政策学部准教授 Ph.D. 鶴岡 路人 氏
- 3月7日（金）「自己組織化に魅せられて」（186名）  
東京大学卓越教授  
工学博士 藤田 誠 氏
- 3月14日（金）「トランプ2.0とどのように向き合うか」（241名）  
北村エコノミックセキュリティ（同）代表  
元・国家安全保障局長  
社員 北村 滋 君
- 3月21日（金）「地政学の潮流変化」（213名）  
—三つの戦域と多極化の進展—  
慶應義塾大学総合政策学部教授  
政策・メディア博士 神保 謙 氏
- 3月28日（金）「国民民主党の目指す国のかたち」（228名）  
衆議院議員  
国民民主党代表 玉木 雄一郎 氏
- 4月4日（金）「内外経済の展望」（211名）  
～転換期の世界における日本の進路～  
（株）三菱総合研究所  
執行役員兼研究理事・シンクタンク部門長 武田 洋子 さん
- 4月11日（金）「日本の課題と可能性：」（200名）  
IMD世界競争力ランキング分析からの示唆」  
IMD 北東アジア代表  
（日本・韓国・台湾市場責任者）高津 尚志 氏
- 4月18日（金）「北朝鮮の内政と外交を読みとく」（212名）  
慶應義塾大学法学部教授 磯崎 敦仁 氏

- 4月25日（金）「日本と新興国の連携が自由な国際秩序を守る」(188名)  
東京大学名誉教授  
政策研究大学院大学名誉教授  
Ph.D. 恒川恵市氏
- 5月9日（金）「ロシアによるウクライナ侵略の経緯と現状」(218名)  
筑波大学人文社会系教授  
ウクライナ研究会副会長  
Ph.D. 東野篤子さん
- 5月16日（金）「トランプ政権と日米関係の行方」(242名)  
コロンビア大学名誉教授  
モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団理事会会長  
Ph.D. ジェラルド・L・カーティス氏
- 5月23日（金）「トランプ政権とイスラエル・ガザ戦争の行方」(184名)  
慶應義塾大学法学部教授  
Ph.D. 錦田愛子さん
- 5月30日（金）「大統領図書館を通してみるアメリカ」(177名)  
東京農業大学学術情報課程教授 豊田恭子さん
- 6月6日（金）「独学の道—スポーツから得た熟達する力」(172名)  
Deportare Partners代表  
元・陸上競技選手 為末大氏
- 6月13日（金）「トランプ現象と現代文明の深層」(250名)  
京都大学名誉教授 佐伯啓思氏
- 6月20日（金）「音楽が人智を超える瞬間」(204名)  
前・NHK交響楽団特別コンサートマスター 篠崎史紀氏
- 6月27日（金）「トランプ時代の経済安全保障」(194名)  
東京大学公共政策大学院教授  
国際文化会館 地経学研究所長 Ph.D. 鈴木一人氏

- 7月4日（金）「第二期トランプ政権と貿易交渉の行方」 (223名)  
関西学院大学総合政策学部教授 渋谷和久氏
- 7月11日（金）「新政権下の韓国と日韓関係」 (214名)  
慶應義塾大学法学部教授  
慶應義塾大学東アジア研究所長  
政治学博士 西野純也氏
- 7月18日（金）「祖父母の品格」 (181名)  
昭和女子大学総長 坂東眞理子さん
- 7月25日（金）「参議院選挙後の日本について」 (249名)  
衆議院議員  
自由民主党選挙対策委員長 木原誠二氏
- 9月5日（金）「スポーツで人を育てる」 (156名)  
日本バスケットボール協会会長  
元・全日本バレーボール選手 三屋裕子さん
- 9月12日（金）「コメと食料安全保障」 (195名)  
(一財) キヤノングローバル戦略研究所研究主幹  
独立行政法人経済産業研究所上席研究員  
農学博士 山下一仁氏
- 9月19日（金）「「諜報的視点」で読み解く世界  
～見えざるリスクとどう向き合うか～」 (198名)  
コントロール・リスクス・グループ(株)  
パートナー／代表取締役  
社員 岡部貴士君
- 9月26日（金）「「日本再起動」 (203名)  
～ Well-beingな街づくりと新産業創造～」  
(一財) 交詢社評議員長  
三井不動産(株)相談役 岩沙弘道君
- 10月3日（金）「AI時代の教育改革」 (229名)  
慶應義塾長  
(一財) 交詢社顧問 Ph.D. 伊藤公平君

- 10月10日（金）「不確実な時代の日本を支える  
～新時代の公務員制度改革～」 (202名)  
人事院総裁 川 本 裕 子さん
- 10月17日（金）「新冷戦下のアジアと日本」 (188名)  
熊本県立大学特別栄誉教授  
Ph.D. 白 石 隆 氏
- 10月24日（金）「転換期のリーダーシップとは  
—小栗上野介と福澤諭吉」 (191名)  
東京大学名誉教授  
学術博士 山 内 昌 之 氏
- 10月31日（金）「歌舞伎と文化の継承をめぐって  
～映画「国宝」・国立劇場再整備・文化と世代交代～」 (186名)  
早稲田大学文学部教授  
早稲田大学演劇博物館館長 児 玉 竜 一 氏
- 11月 7日（金）「カーボンニュートラルと日本のエネルギー政策」 (165名)  
国際大学学長  
経済学博士 橘 川 武 郎 氏
- 11月14日（金）「人口減少社会を考える—未来への責任—」 (183名)  
内閣官房  
全世代型社会保障構築本部総括事務局長 山 崎 史 郎 氏
- 11月21日（金）「生成AI、茶の湯、変革、  
そして日本のこれから」 (225名)  
千葉工業大学学長 伊 藤 穰 一 氏
- 11月28日（金）「なぜ日本人は間違えたのか  
—真説・昭和100年と戦後80年—」 (256名)  
ノンフィクション作家・評論家 保 阪 正 康 氏
- 12月 5日（金）「What is KYOGEN ?～この辺りの者で  
ござる～その多様性と包摂性、そしてその持続性」 (221名)  
狂言師・演出家 野 村 萬 斎 氏

12月12日（金）「高市政権の展望と課題」（230名）  
—日本政治はポピュリズムに向かうのか—

東京大学公共政策大学院副院長  
東京大学大学院法学政治学研究科教授  
法学博士 谷口将紀氏

12月19日（金）「交詢社145年の歴史とこれからの時代」（200名）  
～知識と演説の盛衰を巡って～

（一財）交詢社 理事長 安西祐一郎 君

## ②交詢講座

原則として年4回、当社社員を対象とし、当社会議室において、当社事業委員会主催により各界の専門家を招き、勉強会として講演と質疑応答を交え、午後6時より約1時間半程度実施。

2月18日（火）「日本を取り巻く海の実情」（44名）

東海大学海洋学部海洋理工学科教授  
山田吉彦氏

5月20日（火）「トランプ時代のエネルギー地政学  
～混迷下の日本の針路」（中東、ロシア・ウクライナ、  
日米など最新の情報を踏まえて）（64名）

日本経済新聞社 コメンテーター兼上級論説委員  
松尾博文氏

9月9日（火）「どうなる日本の政治」（80名）

読売新聞特別編集委員  
橋本五郎氏

12月23日（火）「国際情勢と日本-トランプ2.0.」（69名）

外務省顧問  
元・在米国駐劬特命全権大使  
社員 杉山晋輔 君

## (2) 公開講座の実施

### ①公開医療講座（幸齢化を支える医学シリーズ）

年4回、毎回中央区在住・在勤者を対象に、当社事業委員会主催により中央区「中央区民カレッジ」の連携講座として、中央区築地社会教育会館において慶應義塾大学医学部の先生等その分野で権威のある先生を講師に招き、各専門分野について講演と質疑応答を交え約1時間半程度実施。広報として、「区のお知らせ中央」の3月号、8月号に開催予定を掲載。併せて毎回実施日に先がけて参加勧誘を兼ねた開催案内を作成し、当社より既受講者に、また中央区区民部文化・生涯学習課より中央区の各公共施設に対し配布。また、同内容を中央区公式HP、当社HPに掲載し周知を図る。

実施日	演 題	講 師	参加者数
4月9日(水)	身体を温め健康になる 漢方	北里大学北里研究所病院 漢方鍼灸治療センター 星野 卓之 センター長	90名
6月4日(水)	一人ひとりの人生と共に 歩む医療を～successful agingの実現～	慶應義塾大学医学部 予防医療センター 高石 官均 センター長・ 教授	96名
9月3日(水)	集学的痛み治療から学 ぶ、体の痛みとの上手 な付き合い方	慶應義塾大学医学部 麻酔学教室 小杉 志都子 准教授	94名
11月19日(水)	のど、鼻、口を守るた めに：知っておきたい 頭頸部がんのこと	慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 学教室 小澤 宏之 教授	89名

### ②公開医療講座冊子の発行

公開医療講座（幸齢化を支える医学シリーズ）については実施済みの講演録を再編集し順次冊子にまとめ、東京都所在の公立図書館、高齢者施設等公益関係先、地元銀座の町内会、公開講座参加者等に幅広く配布。今年度は令和5年11月に発行の第14巻に続く第15巻（令和5年から令和6年まで8回分の講演録）を11月に発行。

### ③公開文化講座

年2回春・秋、中央区在住・在勤者を対象として、当社事業委員会主催により、当社大食堂において、各界の名士を招き、各専門分野についての講演等を約1時間実施。広報として当社より既受講者ならびに銀座地域の各町会等に対し、開催案内を配布。また、同内容を当社HPに掲載。

実施日	演題	講師	参加者数
5月14日(水)	タクトは踊る“世界のオザワ”が選んだ道	ノンフィクション作家 中丸 美繪 さん	125名
10月6日(月)	歌麿の挑戦と挫折	美術史家・町田市立 国際版画美術館館長 大久保 純一 さん	112名

### (3) オープンフォーラムの開催について

一般公募の方々を対象に、当社主催、産経新聞社後援により、第16回交詢社オープンフォーラムを大手町サンケイプラザにおいて、講演およびパネルディスカッションをあわせ、約3時間開催。なお、人数を絞ったリアル開催のみで実施した。講演録として交詢雑誌増刊号を8月に発行するとともに概要を当社HPに掲載。

実施日	テーマ	講演者等	参加者数
6月8日(日)	「日本経済再生への道を探る」	①基調講演： 小林 鷹之氏 ②パネルディスカッション： (コーディネーター) 富山 和彦氏 (パネリスト) 翁 百合氏 菅野 幹雄氏 星野 佳路氏	408名

## 2. 機関誌等の発行に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)

### (1) 交詢雑誌の発行

講演会・公開講座の内容、その他当社の事業活動の広報をはかるため、原則として8月を除き毎月1回、年11回発行。発行部数は、毎回約2,300部。

## 3. 各種文化事業の実施ならびに援助に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)

### (1) 「音楽と食事の夕べ」の実施

年2回夏・冬、当社社員ならびにそのご家族、ご友人を対象として、当社大食堂において夕食会ののちアーティストによる約1時間のコンサートを開催。

実施日	出演者	参加者数
7月12日(土)	福間 洸太郎さん (ピアノ)	85名
12月13日(土)	森谷 真理さん (ソプラノ)	95名

(2) 「グランド・コンサート」、「アフタヌーン・コンサート」の実施

当社社員ならびにそのご家族、ご友人を対象として、当社大食堂において約1時間のコンサートを開催。

グランド・コンサート		
実施日	出演者	参加者数
10月29日(水)	若林 顕さん (ピアノ)	142名

アフタヌーン・コンサート		
実施日	出演者	参加者数
3月13日(木)	小川 恭子さん (ヴァイオリン)	104名
6月10日(火)	北村 陽さん (チェロ)	109名
9月1日(月)	進藤 実優さん (ピアノ)	104名

(3) 第2回「交詢ビル20周年記念コンサート」の実施

交詢ビルディング竣工20周年の記念事業として、当社社員ならびにそのご家族、ご友人を対象に文京シビックホール・大ホールにおいて、グローバルに活躍されている本格実力派ピアニストの海老彰子さんによる約2時間のピアノ・リサイタルを開催。

実施日	出演者	参加者数
4月28日(月)	海老 彰子さん (ピアノ)	915名

## 4. 施設の管理運営及び貸付けに関する事業

(定款第4条第1項第4号事業)

(1) 交詢ビルディング

当社の区分所有部分（7階～10階）について、倶楽部施設として当社社員等に供すると共に、運用床を三井不動産(株)に一括貸付。管理業務も同様に三井不動産(株)に委託。

## (2) 倶楽部施設の運営

倶楽部内の諸施設を当社社員等の使用に供すると共に、倶楽部食堂については(株)パレスホテルに運営を業務委託し、当社社員ならびに同伴者等に対し食事の提供を実施。

## 5. 諸委員会の開催

(定款第4条第1項第5号事業)

定款第4条の諸事業を実施するため、理事会・評議員会に加え、下記の諸委員会を月例もしくは必要の都度開催。

事業委員会	総務委員会	入社選考委員会
食堂委員会	文化委員会	

以 上